

最先端のナノテクノロジーを駆使した 次世代病理診断技術 ～1粒子蛍光ナノイメージング～

コニカミノルタによって開発され、受託解析サービスを運用されている病理診断技術についてご紹介いただきます。ご興味のある方は、是非、ご参加下さい。

日時：平成27年1月21日（木）13:30～14:30

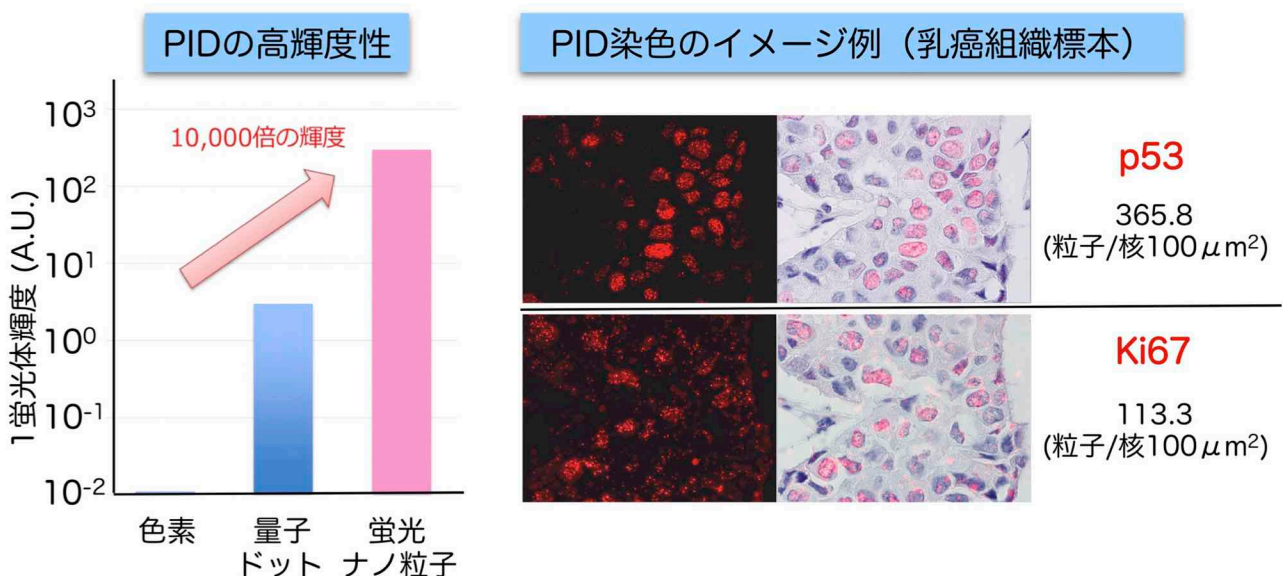
場所：疾患プロテオゲノム研究センター1階 交流ホール

講師：コニカミノルタ株式会社 二谷 悦子

【特徴】

1. 高感度・高耐光性
既存の免疫染色では検出できない低発現量のタンパク質の検出が可能。
2. 定量検出
細胞ごとに粒子数が表示されるので、根拠を持ったカットオフ値の設定が可能。

コニカミノルタは組織切片上のタンパク検出技術として、量子ドットの100倍の輝度をもつ高感度・高耐光性の蛍光材料「蛍光ナノ粒子 (PID)」と、そのPIDを認識する解析ソフトを開発し、染色受託サービスを開始しております



お問い合わせ先

疾患プロテオゲノム研究センター 岡崎 (088-633-9158, tokazaki@genome.tokushima-u.ac.jp)